

小学生の部

《特選》

気持ちを伝える大切さ

城東小学校 5年

谷口 実侑奈 さん

今、城東小では人権の花運動に取り組んでいます。人権の花とは友達への感謝の気持ちと、友達のステキだなと思った所について紙に書く取り組みです。その書いた紙を人権ポストに入れると職員室のかべにはつてもらえます。なので私はポストに入れたあとは横のかべにはつてあるメッセージを読みます。そこには一つ一つあなたかい言葉が書いてあって、もし自分のことが書いてあったら、うれしいし、「やってよかったな。またがんばろう。」と思えます。だから私はあり

がとうとか、ステキだな、とか思ったことがあつたらなるべく書くようにしています。自分が書いたらすぐに出しに行きます。それはメッセージを読んだ人もきつとうれしいなと私と同じ気持ちになると思うからです。

私には、人権の花の取り組みをしてみしてから変わったことが二つあります。

一つ目は友達のいい所をたくさん見つけられるようになったことです。人権の花の取り組みをする前は、友達のいい所をあまり発見することができていませんでした。ただど取り組みをはじめただけからは、「○○くん発表がんばってるなあ。」とか、「○○ちゃんあの時手伝ってくれてうれしかったな。」とかたくさん友達の良い所を見つけたことが出来るようになりました。たくさん見つけることで、「私もあの人のよう

にがんばろう！」と、どんどん友達の良い所をまねしていくことができ、自分を高めていくことができます。

二つ目は、もつと自分が人にやさしくしたり、がんばっていけるということです。最初の方でも言ったけれど、やってよかったな、またがんばろうと思えます。それはだれかが自分にメッセージをくれた時です。私への感謝のメッセージをくれた時は、「あの時○○さんに感謝してもよめるようなことができてよかったな。」と何度も思います。

このように、この活動で人に感謝したりすごいと思ったりすることはいいことなんだと感じ、それを伝えることが大事だと気づきました。この人権の花運動が終わっても、私は心の中にずっと思いやりの花をさかせ続けたいし、その思いを人に伝えて

いこうと思っています。城東小みんなで作った思いやりいっぱいの花たばが、みんなの心の中でさき続けるといいな。

《選評》

滋賀県では人権の花運動としてサルビアを小学校等で栽培することが行われています。この運動を通して自分の変わったところとして、友達に感謝したり、友達のよいところを発見したりできるようになったことと、人に優しくしたり、頑張れるようにと素直に書いています。文末には「みんなで作った思いやりいっぱいの花たばがみんなの心の中でさき続けるといいな。」と結んでいます。この最後の結びで、筆者の思いが大空に広がっていくようで、読む人の心が和みます。